

新たな公共交通システムの構築を

令和4年5月20日、国土交通省の「日本版MaaS推進・支援事業」の採択を受けた先進自治体から、長野県茅野市と北海道芽室町を選択し、事業内容や取組状況、課題等についてオンライン形式で説明を受け、意見交換を行った。

茅野市では、AI乗合オンデマンド交通と通勤・通学路線バス、観光路線バスの各交通サービスを切れ目なくつなぐことで、利便性の高い交通網の構築を目指していた。

芽室町では、サブスクリプション型デマンドタクシーを導入するとともに、商業従事者との連携を図り、安全で暮らしやすい地域づくりの実現を目指したと伺った。

モビリティ アズ ア サービス

※MaaS：Mobility as a Serviceの略。「サービスとしての移動」という意味

ギインの視点

スマートフォンなどのWEBサービスと電話を活用し、デマンドタクシーとコミュニティバスを組み合わせ、検索・予約・決済を一括して行える仕組みを、実証実験を繰り返して、早急に構築していくべき。



オンラインでの行政視察は初の試み



令和3年度に導入したタブレット端末を活用

整備した施設を積極的に活用せよ

令和4年5月11日、改修工事が完了した「物見山陸上競技場」と、新たにオープンした「インクルーシブ・プレイグラウンドのみ」の現地視察を行った。

「物見山陸上競技場」は、トラックの補修や塗装のほか、投光器や館内照明のLED化、トイレの洋式化などが行われ、より快適な競技環境へとリニューアルされていた。

「インクルーシブ・プレイグラウンドのみ」は、障害のある子もない子も自分のペースに合わせて楽しく遊べる公園として、子どもたちが遊べる遊具や芝生ひろば、1周約300mのウォーキングコース、多目的トイレなどが整備されていた。

ギインの視点

- ①リニューアルした物見山陸上競技場でスポーツ界のさらなる活性化に期待。
- ②石川県内で初となるインクルーシブパークを活用した、共生社会の実現に向けた取り組みや健康増進、交流人口の拡大を。



約1億5,700万円をかけて大幅リニューアル



能美市にインクルーシブ公園が誕生



委員会行政視察

他の自治体の先進事例を調査したり、市内の新しい施設などに赴き、政策立案や意思決定につなげる議会活動が行政視察。今回は、常任委員会で行われた行政視察について紹介します。